

平成26年度第10回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：平成27年2月16日（月）10時00分～11時35分

場 所：熊本県立大学大会議室

出席：学長 古賀 実  
副学長 津曲 隆  
事務局長 岡本 哲夫  
文学部長 砂野 幸稔  
環境共生学部長 堤 裕昭  
総合管理学部長 黄 在南  
地域連携・研究推進センター長 松添 直隆  
学術情報センター長 半藤 英明  
文学研究科長 鈴木 元  
熊本日日新聞社新聞博物館長 平野 有益  
昭和女子大学大学院特任教授 渡辺 満利子  
ワグナー：環境共生学研究科長 福島 英生  
アドミニストレーション研究科長 荒木 紀代子  
欠席：熊本県公立高等学校長会会長 宮崎 昭次

事務局：高山事務局次長、元島教務入試課長、安達学生支援課長、福永総務課長、花村企画調整室長、前田地域連携・研究推進センター長、野尻学術情報センター事務長、教務入試課阿蘇品班長

1 開会（進行：高山次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：古賀学長）

（1）審議事項

① 平成27年度入学者選抜における合格者の決定について

1) 大学院文学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「文学研究科英語英米文学専攻博士前期課程は、春季募集人員2名に対して、2名が志願、受験した。文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程は、春季募集人員1名に対して、1名が志願、受験した。文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程は、春季募集人員1名に対して、1名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、文学研究科長から、資料1-2に基づき、「英語英米文学専攻博士前期課程について、一般選抜に志願、受験した2名は基準点を上回っているため合格としたい。日本語日本文学専攻博士後期課程については、1名が志願、受験し、基準点を上回っているためその1名を合格としたい。英語英米文学専攻博士後期課程は、1名が志願、受験し、基準点を上回っているためその1名を合格としたい。」との説

明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## 2) 大学院環境共生学研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-3に基づき、「環境共生学研究科博士前期課程は、春季募集人員若干名に対して、3名が志願、受験した。環境共生学研究科博士後期課程は、春季募集人員3名に対して、2名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、環境共生学研究科長から、資料1-4に基づき、「博士前期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した1名と社会人特別選抜に志願、受験した2名の合わせて3名を合格としたい。博士後期課程については、基準点を上回っている一般選抜に志願、受験した2名を合格としたい。」との説明があった。  
審議の結果、案のとおり承認した。

## 3) 大学院アドミニストレーション研究科春季募集

事務局教務入試課から、資料1-5に基づき、「アドミニストレーション研究科博士前期課程は、秋季募集及び春季募集を合わせて募集人員20名に対して、春季募集には11名が志願、受験した。」との説明があった。

続いて、アドミニストレーション研究科長から、資料1-6に基づき、「博士前期課程については、社会人選抜に志願、受験した11名のうち基準点を上回っている10名を合格とし、基準点に満たない1名を不合格としたい。」との説明があった。  
審議の結果、案のとおり承認した。

## ② 平成27年度入学者選抜（大学院秋季入学）の実施方針（案）について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成27年度入学者選抜のうち、大学院秋季入学試験について、文学研究科博士後期課程の募集人員は、若干名で、選抜区分はなし。環境共生学研究科博士後期課程の募集人員は、若干名で、選抜区分は、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜。アドミニストレーション研究科博士後期課程の募集人員は、若干名で、選抜区分は、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜。文学研究科博士後期課程及び環境共生学研究科博士後期課程の選抜期日は、平成27年8月29日、合格発表は、平成27年9月7日。アドミニストレーション研究科博士後期課程の選抜期日は、平成27年7月11日、合格発表は、平成27年7月21日としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

## ③ 共通教育カリキュラム改正案について

事務局教務入試課から、資料2に基づき、「平成27年度施行を目指した共通教育のカリキュラム改正について、市民性の涵養を目指すことを理念として掲げ、共通科目群を「基盤科目」と「教養科目」に分け、基盤科目では、大学で学ぶための、また社会で行動していくための基礎能力を育成する教育を展開する。教養科目では、専門分

野の枠を越えて共通に求められる知識等を幅広く学び、様々な角度から物事を見ることが出来る能力を培うことで豊かな人間性を養う、いわゆる「教養教育」を展開する。という全学教育の課程編成方針の下、平成26年度第1回教育研究会議（平成26年4月21日開催）及び第3回教育研究会議（平成26年6月16日開催）において、改正概要、共通教育カリキュラム（素案）について審議了承を得ている。その後、引き続き検討を行い、仮称となっていた科目及び卒業要件単位等について一部変更を行い、平成27年度カリキュラム改正（案）を策定したので、関係規程等の改正概要を含め審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

#### ④ 教員の採用に係る枠取りについて

##### 1) 英語・異文化コミュニケーション

事務局総務課から、資料4に基づき、「文学部における英語・異文化コミュニケーションを専門分野とする准教授または講師1名の枠取りである。枠取りの理由は、退職教員の補充であり、平成28年4月1日の採用を予定している。」との説明があり、続いて砂野文学部長から、「グローバルな視点から物事を考え、高度な英語能力によるコミュニケーションが実践できる人材の育成という、学科及び大学全体の目標に照らして、中・長期計画に沿った人事であり、現職教員の退職後、間が開くことなく採用をお願いしたい。准教授または講師としての採用を希望する。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

#### ⑤ 特任講師の採用について

事務局教務入試課から、資料5-1、5-2に基づき、「本年度、文部科学省の補助事業「地（知）の拠点整備事業（COC事業）」として採択された『『もやいすと』育成と産官学民の対話と協働で拓く地域の未来』事業のもとで進められる各種業務のうち、全学的な教育改善を行うために、平成27年4月1日より、教学IR室に配属する特任講師1名を採用したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

#### ⑥ 平成27年度非常勤講師の採用について

事務局教務入試課から、資料6に基づき、平成27年度非常勤講師採用について、第9回教育研究会議（平成27年1月19日開催）時点で未定であったものについて採用案の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

#### ⑦ 「小辻梅子奨学金（仮称）」の創設について

事務局学生支援課から、資料7に基づき、「文学部英語英米文学科及び文学研究科英語英米文学専攻に在籍する学生が、勉学の一環として海外の大学及び研究機関等において一定期間以上の留学・研修等を行う場合、その経費の一部を助成することを目的

に、故小辻梅子名誉教授のご遺族からの寄付金を原資として、小辻梅子奨学金（仮称）を創設したい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑧ 熊本県立大学奨学金の運用方法の検討について

事務局学生支援課から、資料8に基づき、「『熊本県立大学学業奨励奨学金』を廃止し、その財源を活用することで、授業料減免対象者の拡大及び減免の拡充を行いたい。また、平成28年度入学者選抜から『熊本県立大学くまもと夢実現奨学金』を廃止し、平成28年度“くまもと夢実現”推薦入試の入学者の授業料については、正規の修業年限は全額免除とすることとしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

⑨ 熊本県立大学学生懲戒規程の制定について

事務局学生支援課から資料9に基づき、「学校教育法、同施行規則の一部改正が行われ、学生に対する処分の手続きを定めなければならないという規程が新設されたことから、学生支援委員会で検討を行い、熊本県立大学学生懲戒規程（案）を作成したので、審議をお願いしたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

① 平成27年度一般入試の出願状況について

事務局教務入試課から、資料10に基づき、各学部学科の前期日程、後期日程毎の志願者状況、志願倍率及び前年度からの増減数について説明があった。また、平成21年度からの出願状況の推移、平成27年度センター試験科目別の平均点、都道府県別のセンター試験出願者数の増減、他大学の出願状況について報告があった。

4 その他

3月の会議予定

第11回会議 3月 5日（木）午前11時～

第12回会議 3月13日（金）午後 1時～

第13回会議 3月20日（金）午前11時～

5 閉会